



民児協こもろ

～民生児童委員は市民の皆さんに一番近い相談相手～

編集 小諸市民生児童委員協議会 広報部会

平成31年度小諸市 民生児童委員協議会総会開催

平成31年4月24日、出席者105名、
「ベルウィンこもろ」で行われました。

1年ぶりに歌う民生委員の歌「花咲く郷土」はいつから歌われていたのか不明ですが、小諸市では前望月会長の時より10数年にわたって歌いつがれてきました。歌の内容のように「愛」「情け」「夢」をもって地域の皆様に接しているかと、ふと胸をよぎりました。民生委員・児童委員信条はその物ですね。

ご来賓の小泉市長、竹内市議会議長、小林教育長、細谷社協会長の方々のご祝辞をいただき、議事に入り議案第1号〜第5号までが承認されました。最後に、東南部の委員より、小諸市は不登校生が県内でも多いと言われているようですが、どのような対策が取られているのかとの質問に、来賓の小林教育長がお答えになりました。

その内容は、小学校では各校に補助教員を配置し、また中学校では、登校はするが教室に行かれない生徒のために中間教室を設置し、SSW（スクールソーシャルワーカー）を1名配置し、新しい視点での活動を行っている。

そして、不登校の多い市は、長野市・松本市・小諸市の順との事など、分かります。やすく説明を戴き、今までの胸のつかえが下りたよう



民生委員・児童委員信条唱和

な気がしました。

総会後は懇親会、今回はお料理もちよぴりグレイドアップ、皆さん日頃の活躍を労い、和気あいあいと二時間程過ぎました。今期もあとわずか、健康、怪我に気を付けて、ご活躍下さい。

南大井地区 小林幸子

一 期目を振り返って

「年は幾つになるだい」との区長さんの言葉で、結局引き受ける事になり、私になんか民生児童委員という重要な仕事が出るのかと不安いっぱい気持ちで始まりました。

毎月2回の友愛訪問を通してお話を伺いながら、元氣な笑顔に出逢い、時には心配事や困っている事に寄り添い、解決しながら情も移り、つながりが強くなっていくのを感じました。そして、区という大きな家族の中で、出来る限りアンテナを張り巡らせ、見守り、常に笑顔で接するように心

掛けました。

さらに、ゆいの会、サロン、ふれあい給食、カラオケ、介護予防教室など、楽しみに待っていてくれる、元気に参加してくれる、笑顔で帰りそしてまた来たいと思ってくれる、そんな地域での交流、支え合いが一番です。だって皆さん年齢より10才は若く、お元氣なのですから。

任期も残り僅かとなり、地区会では会長さんはじめ、会員の皆さんと和気あいあいの中で、たくさん勉強させていただき、今はやりがいを感じ、お受けして良かったと思っています。

西部地区民生児童委員



毎月1回の地区会です

子どもたちに 夢のある未来を！

一般的に民生委員というと、高齢者の方々の関わりが主と思われがちですが、民生・児童委員という名称が示すように、幼児・児童・生徒との関わりもあり、園児・高齢者の皆さんとの世代間交流会などの企画・運営も行っています。また民生児童委員と小中学校との懇談会が定期的に行われ、それぞれの様子などを意見交換しています。

そんな活動の一環として、現在、民生児童委員の仲間3名で小諸東中学校の信州型コミュニティスクールの一環とする「学びの庭



下校指導 並んでね

という企画に参加し、学習支援ボランティアを行っています。3学年それぞれ希望する生徒が、月2回ほど、教室に集まってきて自学自習するのをお手伝いするのが学習支援ボランティアの役目です。昨年の10月から始まったものですが、真剣に取り組む生徒さんと一緒に学習することで私たちが学ばせてもらっています。

急速な社会の変化に伴い、子どもたちの学習環境・内容も大きく変貌を遂げ、さらにAI（人工知能）の進展により「多くの仕事がAIに置き換えられる」と取り沙汰されています。今や大人が子どもたちに将来の仕事イメージさせることが、難しい状況におかれています。大人も過去の経験にのみ頼るのではなく、共に学ぶことも必要ではないかと思えます。

子どもたちのことを学校だけに任せるのではなく、地域ぐるみで子どもを育てようと、県内公立小中学校



学びの庭

544校すべてに信州型コミュニティスクールの仕組みが設置されています。市内の学校でも様々な形で実施されています。家庭・地域と学校がともに協力し、子どもたちを育てることが求められています。

市民の皆様にもご自身のお仕事の体験や趣味などを通し、「こんな活動なら参加できるわ。」「おもしろそうだ。やってみようか。」などと積極的に各学校の活動に協力していただき、日本一「地域で子どもを育てる街」になればいいなと思っています。

三岡地区主任児童委員

小林眞隆

【一期多会】 『森山区の子供たちは、 森山区のみんなで 守ってあげたいね。』

子供が犠牲となる痛ましい事件・事故が相次いだ平成27年に、こんな声を受けて、森山区では見守り活動を始めました。

1、森山区の福祉健康推進委員会では、毎年夏休み明けの土曜日に小学生と高齢者のマレットゴルフ大会を開催しています。昨年は子供たちの参加は18人で、顔や名前を知るために、高齢者と共に胸に名札を付けてプレイしました。毎年参加する子も多く、スコアもだんだん向上しています。



マレットゴルフ



ソーメン流し

マレットゴルフの試合後には、『ソーメン流し』をします。低学年の子供たちはここから参加する子も多く、委員会の会員の皆さんの手作りの竹樋を流れるソーメンやミニトマトを大喜びで食べてくれました。

2、桃寿会（高齢者クラブ）の皆さんと民生児童委員とで、美南ガ丘小学校見守り隊に参加し、登下校時の安全を見守る活動をしています。通学路の要所には、黄色いベストを着用した隊員が立ち、子供たちに声をかけ見守りをしています。子供たちの元気なあいさつが一番の喜びです。

三岡地区 下平昭夫